



陶韻クラブ

第12号

歓迎会 盛況



5月11日（日）12時栗澤顧問宅の駐車場に於いて18名が参加し歓迎会を行いました。今年度の新入会員は工藤さん、佐藤さん、米内山さんと木村さんの4名です。そのうち木村さんは都合で参加出来ませんでした。天候は、風が強く体感温度が低かったのですが、藤元さんがテントを風除けに貼り快適でした。



ちょうど山菜の豊富な時期で、山菜名人の源吾さんがタラの芽とクレソン、新人の佐藤さんがハマボウフウを持ち寄ってくださって、タラの芽は源吾さんが工房で天ぷらにし、振る舞ってくださいました。また、三津谷さんの焼きそばが美味しくすぐになくなりました。よく飲んで、よく食べてよく会話をして楽しい歓迎会でした。



5月11日（日）今年度第1回目の本焼を行いました。08時に新会員3名と三津谷さん、山本の5人で点火。昨年の10月20日以来半年振りの本焼でしたが問題なく着火し、その後の温度管理も順調

窯出しの喜怒哀楽



でした。12時から歓迎会を行いました。16時30分に続けて、16時30分に1250度で火を止めました。

窯出し作業は5月16日（金）17時30分から開始。作業には6人が集まっていただいたため、すぐに出し終わり公会堂へ運び焼き上がりの講評。今回は生焼けの状態の作品が多数ありました。原因としては、第1に作品に小物が多く隙間なく詰め込まれたこと、第2に一部の釉薬を新しくしたことが考えられます。



粘土の選定 難航

今後使う粘土を決めるため、現在4種類を試しています。5月第1週に電気窯で焼いてみた結果、どれも一長一短があり、まだ決定に至っておりません。しばらくお待ちください。また、赤7号+並コシの粘土は3月から使っていないかったため、土練機（昨年調達品）の中で固まっていた。5月23日に代表と藤元副代表が取り除いてくれました。お疲れ様でした。



ふれあいの旅案内

今年のふれあいの旅の候補地は津軽金山焼と、秋田県の角館があげられています。まだ、具体的な時期等は未定ですが計画を進めてお知らせします。

会員の動向

45回生の山本えり子さんが都合により退会しました。